

氏名	難波康男
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙第1837号
学位授与の日付	昭和62年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	広範肝切除後のブドウ糖とインスリンの投与に関する実験的研究
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 産賀敏彦 教授 寺本 滋

学位論文内容の要旨

70%肝切除犬を作成し、肝切除後6時間、2日、4日、1週、2週で、門脈内糖負荷を行い、肝と末梢組織におけるインスリンのとりこみと糖の出入りを糖負荷前と糖負荷時で検討し、以下の成績を得た。1)肝のインスリン摂取率は、肝切除後2日間で低下し、4日以後上昇した。門脈内糖負荷による影響をみると、肝切除後2日においてのみ上昇がみられた。2)肝切除前後において、糖は肝で一定量放出されていた。門脈内糖負荷時には、肝切除後2日間は放出のまま、4日以後は肝切除前と同じくとりこみを示した。3)肝切除後2週間の末梢組織における糖のとりこみは、門脈内糖負荷により上昇した。以上より、肝にとって、インスリンの積極的な投与は肝切除後6時間では無意味で、2日では逆に有用ではないかと考えられた。肝切除後の糖の投与については、末梢組織では糖利用亢進がみられたが、肝にとっては、肝切除後2日間は過剰投与は控えるべきではないかと考えられた。

論文審査の結果の要旨

70%肝切除犬を作成し、門脈内糖負荷を行い、肝と末梢組織におけるインスリンのとりこみと糖の出入りを検討したものであるが、インスリンの積極的な投与は肝切除後6時間では無意味で、2日では逆に有用であったこと、さらに糖の投与については、末梢組織では糖利用亢進がみられたとの重要な知見を得ている。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。